



[ホーム](#)> [プレスリリース](#)> [プレスリリース \(2016年\)](#)> 日本ゼオン、産総研が、平成28年度科学技術分野の文部科学大臣表彰で科学技術賞を共同受賞

日本ゼオン、産総研が、平成28年度科学技術分野の文部科学大臣表彰で科学技術賞を共同受賞

2016年4月12日

日本ゼオン株式会社
国立研究開発法人産業技術総合研究所

このたび、日本ゼオン株式会社（社長：田中公章）の特別経営技監・荒川公平と、総合開発センターCNT研究所長・上島貢は、国立研究開発法人産業技術総合研究所（理事長：中鉢良治）ナノチューブ実用化研究センター・畠賢治研究センター長、湯村守雄首席研究員、FUTABA DON NORIMI研究チーム長と共に、平成28年度科学技術分野の文部科学大臣表彰において、科学技術賞を受賞いたしました。

なお、授賞式は4月20日に文部科学省にて行われます。

この表彰は、科学技術に関する研究開発、理解増進などにおいて顕著な成果を収めた者について、その功績を讃えることにより、科学技術に携わる者の意欲の向上を図り、もって我が国の科学技術水準の向上に寄与することを目的として行われており、今回の受賞理由は下記となっております。

受賞業績： スーパーグロース法単層カーボンナノチューブの量産技術開発

日本で発見された単層カーボンナノチューブ（単層CNT）は、非常に優れた物理化学特性を有し、次世代の基幹素材として期待されているが、合成効率が極めて低かったため、いまだ本格的な工業用素材として商業生産されていない。

本開発は、極微量の水分を合成雰囲気添加到することで、合成収率を従来の1,000倍改善し、高純度・長尺の単層CNTを得る合成手法（スーパーグロース法）を開発した。塗布触媒、連続合成、大面積合成技術などの基盤技術を開発し、スーパーグロース法の工業的量産プロセスを実現した。本開発により、スーパーグロース単層CNTの商業生産が実現され、CNTスーパーキャパシター、CNTゴム複合材材料を用いた医療福祉器具などの用途が相次いで実用化される。

本成果は、スーパーグロース単層CNTの持つ優れた特性が、非常に多岐に渡り、かつ既知の材料

を大きく凌駕する機会が多いため、応用範囲もエネルギー、環境、ITと多岐に渡り、素材面から我が国の産業競争力の強化に寄与している。

 本件に関するお問い合わせ

日本ゼオン株式会社 **CSR**統括部門 広報室

Tel : 03-3216-2747

[▶ お問い合わせフォーム](#)

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 企画本部 報道室

Tel : 029-862-6216